

金沢大学附属病院 脳神経外科で治療を行われた 神経膠腫の患者さんへ 金沢大学医薬保健研究域薬学系との共同研究 「神経膠腫におけるSmurf2のリン酸化修飾と機能 解析の研究」について

原発性脳腫瘍は、その臓器特異性から、腫瘍に対する最大戦略である全摘出～十分な余裕を持つての周囲切除が困難なことが珍しくありません。そこで、可及的腫瘍摘出後の後療法としての新規治療法の開発や、病態解明の研究が行われています。

脳腫瘍の中でも神経膠芽腫は中枢神経系における最も予後の悪い腫瘍の一つであり、この腫瘍は高い浸潤能と壊死巣・異常血管新生を特徴としています。これらの特徴は成長因子や種々の細胞外基質成分の過剰産生、メタロプロテアーゼなどの酵素の変調によって引き起こされます。

SMAD specific E3 ubiquitin protein ligase 2(Smurf2)はいくつかの癌において腫瘍抑制因子としての役割を果たすことが示されているタンパクで、腫瘍細胞の増殖抑制に関与していることが示されています。これまでSmurf2のリン酸化修飾と神経膠腫の悪性度・進行度に相関関係があるかどうかは明らかとなっておりませんでした。共同研究先とのタンパク質発現の解析で、Smurf2が脳腫瘍で脱リン酸化されている可能性が示されています。つまりSmurf2のリン酸化修飾が腫瘍細胞の増殖抑制に関与していることが考えられます。そこで我々は、神経膠腫における細胞増殖に関わるSmad2/3,RNF20と言った分子とともに腫瘍組織におけるSmurf2のリン酸化の程度を評価し、神経膠腫の悪性度との相関を解析することを目的とした研究を予定しています。

このために、当院で手術を受けられた神経膠腫患者様の病理検体と臨床情報を用いた実験を計画しております。

この研究は、既に摘出された病理検体とカルテ情報のみを研究させていただくものであり、新たに患者さんへの負担はありませんし、今後の治療方針にも影響しません。また費用の負担もありません。

なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究域長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2011年以降、当院で手術を受けられた神経膠腫の患者さんで、この研究に参加したくない方がいらっしゃいましたら、そのことをお申し出ください。その場合、あなたの病理検体や臨床情報は使いませんし、またこれからの治療に差し支えることは全くありません。また、ご自分がこの研究の対象になっているかお知りになりたい方についても、お調べしお答えいたします。

2. 研究の目的について

研究課題名：神経膠腫におけるSmurf2リン酸化修飾と機能解析

この研究では神経膠腫の患者さんの病理検体を、免疫染色やWestern blottingといった手法でSmurf2のリン酸化強度を観察し、臨床情報と合わせて解析することで、神経膠腫におけるSmurf2リン酸化修飾の果たす役割を解明することを目的としています。

例：診療時のデータを利用する場合の揭示文書（2017.4.）

3. 研究の方法について

この研究では、2011年以降に当院で治療された神経膠腫患者様を対象として、病理検体の免疫染色の結果およびカルテ記載・採血結果などの診療情報を使います。収集した情報から、お名前などの個人情報削除後に、共同研究施設に情報を送付して解析を行います。集計されたデータは学会や論文などに発表される事がありますが、個人情報が公表されることはありません。

4. 研究期間

この研究の期間は、2017年2月22日（金沢大学医学倫理委員会の承認日）から2022年5月31日までです。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、採血結果やカルテから得られる病変の部位などの臨床情報

試料：手術で得られた病理標本

6. 外部への試料・情報の提供・公表

データは全て本学内のみで取り扱います。

情報は全て個人情報を削除し、個人が特定できない状態としてからパスワードをかけたファイルで保管します。

7. 予想される利益と不利益について

この研究は病理検体の免疫染色の結果と臨床情報の調査だけを後方視的に行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。予測される不利益として個人情報の流出の可能性が0ではありませんが、データの取扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

8. プライバシーの保護について

この研究では、患者さんのお名前に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。データの調査のときに個人情報が漏れないように、この一覧表は、データとは別に取り扱います。更に共同研究機関に送付する際には、対応番号も省いたデータのみを送付します。

また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、あなたの個人情報などが公表されることは一切ありません。

9. 研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用の負担や研究のためだけの新たな通院はありません。

10. 研究組織

金沢大学医薬保健研究域医学系

脳・脊髄機能制御学 教授

中田光俊

例：診療時のデータを利用する場合の揭示文書（2017.4.）

金沢大学医薬保健研究域薬学系

薬理学

准教授

檜井栄一

1 1. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2017年12月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

1 2. 個人情報の開示について

金沢大学における個人情報の開示の手続については、次のホームページを参照してください。

http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_syomu/kojin-jyouho/

1 3. 研究計画書など資料の入手について

この研究の研究計画書などの資料が欲しい、またはごらんになりたい場合は、研究に関する窓口にお問い合わせくだされば、対応いたします。

1 4. 研究に関する窓口

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報をお知りになりたいときには、遠慮せずにいつでもお尋ねください。

研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域医学系

研究責任者：中田 光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授／附属病院脳神経外科科長）

問合せ窓口：中田 光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授／附属病院脳神経外科科長）

住所：金沢市宝町13-1

電話：Tel: 076-265-2384 Fax: 076-234-4262

研究代表者

金沢大学 中田 光俊